

令和7年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

労働災害防止のための集団指導会

令和7年10月23日(木)

令和7年10月23日、宮古森林組合にて、林業・木材製造業労働災害防止協会主催の「令和7年度 伐木作業時における労働災害防止のための特別活動 集団指導会」が開催された。

当日は、宮古森林組合や沖縄北部森林組合等の林業関係者37名の参加があり、伐木作業を中心に労働災害防止のための講話が行われた。

その中で、林業普及指導員は、近年の温暖化による職場環境の悪化により増加が懸念される熱中症や断続的に発生するハチ刺されに関する防止及び災害発生後の対策に係る講話を行った。

講話の中では、体調の悪化の原因が熱中症と確定できるわけではないので、持病や当日の体調に係る事前の情報共有が大事であることや、ハチ刺されに伴うアナフィラキシーショックの補助治療剤であるエピペンの携行等について掘り下げて説明した。

林業従事者が安全・安心に仕事ができる職場環境の提供は必要不可欠であり、また市街地から程遠い林業現場において、労働災害の予防や災害発生後の初期対応は必要な知識であることから、今後とも労働災害防止の普及啓発に向けて取り組みを進めていきたい。



集団指導会の様子①



集団指導会の様子②

(報告者：森林管理課 仲里・平田・石垣)